

2024年度 長谷工グループCSR行動計画

※社名表記のないものは[長谷工コーポレーション]の取り組みを指します

4つのCSR取り組みテーマ	マテリアリティ(重要課題)	創業100周年(2037年)ありたい姿	2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目	指標(KPI) / 目標数値	実績	2024年度の主な取り組み(ハイライト)	自己評価	対象範囲
住んでいたい 空間	持続可能な暮らしと まちづくり	1 災害に強い暮らしとまちづくりに貢献している 2 保育、教育、介護、福祉をはじめ、暮らしに関わる様々なサービスへ容易にアクセスできるまちづくりに貢献している 3 地方活性化を推進している 4 地域の社会課題解決モデルを広く社会に提示している 5 新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている	① マンションにおけるハード・ソフトの災害対策推進	・災害に強いマンション提案仕様(新築)ルネ物件採用100%	100%	・「災害に強いマンション提案*」継続展開 *事業主・管理組合向けの防災・減災提案 -「防災3点セットの非常用マンホールトイ(汚水樹型)用汚物補足装置」を2024年4月より基本仕様化 -防災セト*提案継続[細田工務店] *地震や災害などの非常時の生活品質に役立つ設備5点 -震災対策BCP訓練にて、地図システムを活用した物件被災状況一次確認訓練を実施[長谷工グループ] -施工中・管理・賃貸物件、シルバー施設、モデルルーム、仲介店舗にて実施 -長谷工ライネット管理物件の被災状況を共有する独自の震災アリリニーアル開発[長谷工ライネット] -マンション居住者の防災知識向上を目的とした「おうち防災セミナー」をオンライン開催[長谷工コミュニティ]	☆☆	長谷工グループ
			① 住宅を核とした複合開発の推進	・取り組み件数	4件(継続)推進中	・共創型レジデンス「コムレジ赤羽」事業推進中 -学生寮・シェア型企業寮・賃貸マンションの複合開発 ・各種複合開発案件計画推進中 - (仮称)鎌倉市桜原計画 -「HASEKO Well-Doing Smart City」 ※3つの「循環」をコンセプトとして掲げ、豊かさが“循環”する住まい価値を創造 - (仮称)横浜市中区本町計画 ースモールオフィスと共同住宅の複合開発 - (仮称)大阪市平野区長吉長原計画 一商業施設と分譲マンションの複合開発	☆☆	長谷工グループ
			① 地方での事業展開推進	・展開エリア数	7エリア	・北海道・東北・北信越・中四国・東日本・九州・沖縄エリアにて事業展開を継続 -「ブランシェラ伊勢市駅前(三重県第1号物件)」、「ブランシェラ福山」、「ザ・ブランシェラ第1号物件」、「ブランシェラ国分中央」等推進[長谷工不動産]	☆☆	長谷工グループ
			① 地域活性化への貢献	・事業推進件数	4件	・明日香村での主な取り組み -企業版ふるさと納税を2018年より実施 -「飛鳥ハーフマラソン2025」を3月に開催(特別協賛) - 貸農園「長谷工明日香コミュニティーム」運営、イベント開催 - 杉並区空家利用相談窓口事業者に選定(24年4月1日付)、出張相談会開催[細田工務店]	☆☆	長谷工グループ
			① 多様なライフスタイルに応える建物・サービスの提供	・事業開発件数	19件(新規・継続)推進中	・京都大学など包括連携研究を開始(新たな都市の創造や地方再生などを見据えた協働) -「Be-Fi*」および間取り可変システム「UGOCLO」の採用促進 *分譲マンションの新しい間取り -プレゼンテーションスペース「LIPS」を改修、H/DTL(長谷工デジタルテクノロジー)を開設 -「楽々テープルキッチン」を開発:HFD海老名にて30戸採用[長谷工アニシング] -FIT-PJ(ファットプロジェクト)による新規事業2件継続運用、「POPLICA(ポップカ)」等、新サービス3件について検証実施中[長谷工アネシス] -外部管理者方式のマンション管理サービス「smooth-e」131件(10,789戸)導入済(25/3月時点) -DXチャレンジプロジェクトにおいてマバース活用推進:3件リリース[長谷工アネシス] -コンセプト賃貸マンション:「PLAY」・「TRACK」の地方展開[長谷工不動産] -ICTマンション13プロジェクト稼働中[長谷工アネシス]	☆☆	長谷工グループ
			② 超高齢社会に対応する高齢者施設・住宅・介護サービスの開発・提供等	・高齢者施設・住宅・サービス事業化件数	0件	・ブランシェール(有料老人ホーム)45施設、ウェルミー(グループホーム)5施設運営中[長谷工シニアウェルデザイン] -笑いヨガ、ウェブジオ、各種イベント等QOL向上に向けた独自サービス提供[長谷工シニアウェルデザイン]	☆☆	長谷工シニアウェルデザイン
			③ マンション再生事業の推進	・建替施工実績(累計)	45件(竣工済分)	・マンション再生(建替え・長寿命化)の総合提案と事業推進を実施 -多摩川住宅二棟団地建替事業を着手 -耐震化事業の推進(耐震診断・補強設計・補強工事)[長谷工リフォーム] -建替事業: 洪谷区桜丘町計8件案件推進中[長谷工不動産] -リノベ再販の積極展開[総合地所・長谷工リアルエステート]	☆☆	長谷工コーポレーション 長谷工リフォーム 長谷工不動産 長谷工リアルエステート
			④ 再開発事業の推進	・事業協力した再開発実績(累計)	20件(竣工済分)	・再開発事業18件取り組み推進中[長谷工コーポレーション] -再開発事業2件着工、1件取り組み推進中[長谷工不動産]	☆☆	長谷工コーポレーション 長谷工不動産
			① 品質の維持・向上	・ISO9001外部審査指摘件数ゼロ ・長谷工プレミアムアフターサービス採用戸数	0件 東:7,155戸(累計79,907戸) 西:2,780戸(累計38,829戸)	・品質マネジメントシステムの継続・推進[長谷工コーポレーション・長谷工リフォーム・不二建設] -各種仕上げのチェックポイント、施工マニュアル等を作成し全社で共有(高品質と精度確保の為) -「HASEKOリユース活動*」にて施工品質の維持・向上を促進 *協力会社組織との連携活動 -長期優良住宅(戸建て)の展開(「ルネテラス東林間」・「ルネテラス本八幡」他)[総合地所] -再開発事業「岡山県岡山市表町一丁目計画」にて長期優良住宅認定取得 -仲介物件において充実した保証サービスを提供し住宅の資産価値維持・向上に寄与[長谷工リアルエステート] -自社施工の注文住宅にて、初期保証期間30年を継続[細田工務店]	☆☆	長谷工グループ
			② ICTを活用した防犯・見守りシステムの導入	・LIM(暮らし情報) プラットホームの確立に向けた検証継続	検証継続	・顔認証システム・スマートロック・HEMS等を導入したICTマンションにて検証継続	☆☆	長谷工アネシス
技術開発	7 新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている	① DX具現化に向けた取り組み	・取り組み件数	33案件	・DX推進委員会において各種WGを推進中	☆☆	長谷工グループ	
			① マンション由来の環境負荷低減を実現する技術の開発・採用	・環境負荷低減技術開発件数 ・周辺環境配慮技術開発件数 [長谷工コーポレーション] ISO14001目標 ・環境配慮設計採用率	9件継続中 0件完了 東:98.3%、西:98.7%	・H-BACコンクリート(環境配慮型コンクリート)の積極採用を推進 -「サステナブルシェア本行徳」運用中 -国内初既存住宅を全面改修しCO2排出量実質ゼロを目指す賃貸マンション -スマートホームシステムを導入した未来住宅創造に向けた居住型実験住宅 -開放廊下照明の深夜減光システム導入 -複数メーカーと協働し、居住型実験住宅棟を運用 -「環境配慮チェックシート」「CO2排出量算定シート」を活用、環境配慮設計を継続実施 -長期優良住宅を建売住宅の標準仕様として継続採用[細田工務店] -全戸太陽光発電採用物件(戸建て)竣工(「ルネテラス上用賀」「ルネテラス阿佐ヶ谷」)[総合地所]	☆☆	長谷工グループ
			② 災害対策技術の開発	・災害対策技術開発件数(地震(免振・制振・耐震)・台風等)	1件完了、1件継続中	・超高层SHバーテーション開発完了	☆☆	長谷工グループ
コミュニティへの 配慮と参画	9 地域コミュニティ形成に貢献している	① 地域やマンション住民同士の交流によるコミュニティ形成の仕掛けづくり	・長谷工コミュニティ管理物件でのイベント開催(300戸以上総合管理物件にて年1回)	238件	・神戸市北鶴林台地域のエアマネジメント組織(北鶴〇(まる)〇(まる)部)に継続参加 -「あるフォーラム*」の運用・導入・促進: 2024年度竣工エアマネジメント全物件で採用 *長谷工コミュニティが運営するコミュニティ形成支援サービス -管理マンションにおけるイベント開催サポートを継続実施[長谷工コミュニティ] -地域・コミュニティ分野関連団体への助成事業の実施(ハウジング・&・コミュニティ財団)	☆☆	長谷工管理ホールディングスG 長谷工コーポレーション 長谷工不動産ホールディングスG ハウジング・&・コミュニティ財団	
			① 復旧支援に繋がる設備の整備	・防災3点セット採用件数 - WELL UP - かまどスツール - マンホールトイ	42台 111台 125台	・応急危険度判定士や自治体での防災ボランティア登録継続	☆☆	長谷工グループ



2024年度 長谷工グループCSR行動計画

※社名表記のないものは[長谷工コーポレーション]の取り組みを指します

4つのCSR取り組みテーマ	マテリアリティ(重要課題)	創業100周年(2037年)ありたい姿	2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目	指標(KPI) / 目標数値	実績	2024年度の主な取り組み(ハイライト)	自己評価	対象範囲	
働いていたい 場所	人的資本 (ダイバーシティ&インクルージョン・人材育成)	11 多様な個性・価値観を認め合い、すべての社員がやりがいを持って、自分らしく活躍できる環境が整っている 多様な人びとが活躍する、安全で生産性の高い職場をつくりたいです。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦しています。	① 働き方改革の推進	・MOST活動*の推進 *グループ全体で職場環境の改善を目指す活動	計画通り実施	・MOST活動*の推進[長谷工グループ] *グループ全体で職場環境の改善を目指す活動 -「心身のリフレッシュで最高のパフォーマンスを！」をテーマとして①マイインターバル取得②業務効率化・生産性向上を推進 -グループ統一「残業データ実施部門・会社ごとの活動を推進、MOSTレポートによる周知啓蒙実施 -DXによる業務効率化の推進	☆☆	長谷工グループ	
			② 様々な職場での女性の登用と活躍支援	・女性管理職登用の促進(前年実績以上) ・えるばい認定取得 ・女性社員比率30%以上 【長谷工コーポレーション】 ・新卒採用における女性比率30% ・女性社員年間離職率3%以下	女性管理職比率10.6% 取得(3段階目) 33.3%	・「長谷工グループ ダイバーシティ&インクルージョン推進方針」の継続運用(ありたい姿No.11の取り組み項目②～⑥に共通) ・D&I推進室による取り組みを推進 -えるばい認定3段階目を初取得[長谷工コーポレーション] -管理職者向けD&I研修、全社員向けeラーニングを実施 -「みんなでつくる働いていたい場所*」を運営 *社員参加型の社内ポータルサイト -各事業体による施策の実施 -えるばい認定2段階目を初取得[長谷工リフォーム] -建設部門および設計部門にて女性社員研修会継続実施[長谷工コーポレーション] -営業社員を対象としたキャリアプラン研修・管理職者を対象とした管理職者セミナーを開催[長谷工アリエルエストート]	☆	長谷工グループ	
			③ 育児・介護関連の支援制度の拡充と推進	・くるみん認定取得 【長谷工コーポレーション】 ・配偶者出産休暇取得率80% ・育児休業取得率(男性)50% ・子ども休暇取得率(男性)50%	70.9% 60.8% 51.5%	・D&I推進室による取り組みを推進 -管理職者向けD&I研修、全社員向けeラーニングを実施 -男性の育児休業取得推進: 前年取得率36.0%→60.8%へ増加 -介護支援制度拡充を実施、社内ポータルサイト内に介護情報ポータルを開設	☆	長谷工グループ	
			④ 障がい者と共に働く職場の実現	・障がい者雇用率2.5%	2.48%	・障がい者向けサテライトオフィス(丸の内・三鷹・川越・南砂町・大阪)事業の拡大 -サテライトオフィスを自社運営し芝本社近辺へ集約 -農園事業(船橋・柏)への参画による職域拡大を継続実施[長谷工システムズ] -社内向けに、農園で収穫された野菜の配布会(HASEKOマルシェ)を開催(24年4月・25年2月) [長谷工システムズ]	☆	長谷工グループ	
			⑤ シニア人材の活躍に向けた支援	・60歳研修受講人数 ・定年再活用者数	158名 335名	・60歳到達社員に対して研修を実施(年1回) ・定年退職者を対象に、必要性に応じ有期雇用(契約・派遣)による再活用を実施 -シニア層の活躍の場としてライフマネージャー(マション管理員)を採用 -4月時点で60歳以上5,635名が活躍[長谷工管理ホールディングス]	☆☆	長谷工グループ	
			⑥ 外国人社員が活躍できる職場環境・インフラの整備と推進	・体制整備	継続	・協力会社組織「建榮会」所属企業の外国人従業員を対象とした「外国人労働者座談会(グローバルワーカーズミーティング)」J2現場で開催 -建設現場内の表示(安全看板・分別表示等)について、全現場にて5か国語対応を実施 -ハイ・ベナムでの海外事業において現地雇用を継続実施 -ベトナム・ミャンマーの介護特定技能生を継続採用[長谷工シニアウェルデザイン] -グループ会社、および協力会社にて外国人技能実習生の継続雇用	☆☆	長谷工グループ	
			12 未来の住まいと暮らしに関わる人材を育成する多種多様な教育を実施している	① 自律的に成長・進化・挑戦し続ける人材・組織づくり ・経営幹部候補の計画的な輩出 ・新たな戦略を実現する人材育成	・自己学習支援「長谷工ビジネスカレッジ」受講人数 ・キャリア研修の受講人数 ・経営者養成講座の受講人数 ・DXアカデミーの受講人数 ・英語教育の受講人数	1,064名 167名 110名 8,016名 31名	・年次別集合研修の実施、若手社員の側面支援策である「Be3(ビーキューブ)制度」を継続 -自律人材の輩出促進と多様なスキルの保有を目的とした自己学習支援策「長谷工ビジネスカレッジ」継続実施 -「DXアカデミー」にて、グループ全社員のリテラシー底上げを目的としたeラーニングを実施。選抜者にDX人材スキル診断を行い、グループ全体のスキルレベルを定量評価 -グループ各社にて、独自の教育施策(研修)を多数実施	☆☆	長谷工グループ
			② 技術・スキルの継承	・建設キャリアアップシステム登録率 ・長谷工グループ技術教育の受講人数	東:75%、西:72% 223名	・各事業体(営業・管理・施工・設計・技術・グループ各社)の実務教育を実施 -建設キャリアアップシステム*継続運用 *技能者の情報をICカードを通じて業界統一ルールでシステムに蓄積する仕組み -先輩社員による若手社員への技術教育(TOSS,施工図演習等)継続実施	☆☆	長谷工グループ	
			13 住まいと暮らしについて、子どもから大人まで広く学べる場を提供している	① 外部とのコミュニケーション強化 ② イベント等による啓蒙	・長谷工マンションミュージアム来館者数 ・イベント件数、参加人数	3,760名 2件、589名	・長谷工マンションミュージアムにロマンスカーミュージアムとのコラボワークショップを開催(8月・12月) -建設作業所見学会受け入れ(インターネット等) -「けんせつ探検隊(日建連主催の現場見学イベント)」に参加(エアリアシティ星田駅前新築工事作業所にて受入) -「マンションづくりふれあいワッタ」(社員向け家族イベント)継続開催: 95名が参加 -「HASEKO 夏のロコチャレ2024～マンションまるわかりツア～」を開催	☆☆	長谷工グループ
			14 労働環境・安全衛生	① 労働環境の整備・安全衛生管理体制の徹底	・中央安全衛生委員会の開催(年1回) 【長谷工コーポレーション】 ・死亡・重大事故災害ゼロ ・労働災害度数率0.60以下 ・労働災害強度率0.01以下	年1回開催	・労働災害撲滅に向け「グリーン安全衛生管理方針」「安全衛生管理計画」に基づく安全管理を徹底 -IT機器を活用した熱中症対策を実施(長谷工コーポレーションの現場作業所にて) -「全国建設業労働災害防止大会」にて、関西4案件が安全衛生表彰を受賞 -「Brilla City 石神井公園 ATLAS」が、「建設業労働災害防止協会本部表彰」優良賞を受賞 -「プラウドシティ方南町」が、「新宿労働基準監督署 署長表彰」を受賞	☆	長谷工グループ
			15 社員一人ひとりの、心身の健康づくりを支援している	① 健康経営の実践 ② 従業員の心身の健康増進	・グループ健康経営推進委員会の開催(年1回) -健康経営優良法人の認定取得 ・健康診断受診率100% ・特定保健指導実施率50% ・ストレスチェック受検率100%	年1回開催 認定取得	・グループ健康経営推進委員会を開催 -『健康経営優良法人(ホワイト500)』認定継続取得 -従業員・家族の健康相談・感染情報報告体制の整備 -従業員の健康増進施策「レッツエクサ!!」に4,152名が参加[長谷工グループ] -従業員の健康増進施策(運動習慣支援)「LIVERUN オンラインチーム対抗駅伝」5月・10月に開催し約1,202名が参加[長谷工グループ]	☆☆	長谷工グループ
			16 協力会社とともに安全で生産性の高い職場を実現している	① 協力会社との連携を強化・継続推進 (バリューアップ活動の継続実施) ② 協力会社との連携によるDX推進・施工自動化技術の開発 ③ 協力会社におけるリスク対策	・バリューアップ活動報告会/各協力会社組織総会の開催(年1回) ・開発テーマ数 ・総会にて啓蒙活動を実施(年1回)	年1回開催 2件 年1回開催	・協力会社組織(建榮会・住優会・建翔会・輝翔会・親和会)活動(安全管理の徹底等)継続推進 -毎月の専門部会(13部会)実施の中で、緊密な情報共有を実施 -「HASEKO」バリューアップ活動報告会(テーマ「バリューアップ活動の変化と進化!～さらなる四方位への未来へ～」)を開催 -「バリューアップ拡大勉強会(テーマ「品質の向上と施工効率への意識向上と改善提案」)」をWeb開催し、協力会組織を中心約2,800名が参加 -施工品質・施工効率向上を目的に各種勉強会を開催(外構工事勉強会・鉄筋工事勉強会)	☆☆	長谷工コーポレーション 長谷工リフォーム 長谷工管理ホールディングスG 不二建設 細田工務店
			17 業務効率化・生産性向上につながる先進技術活用をリードしている	① DX推進による労働生産性向上	・業務改善施策件数	0件(継続中9件あり)	・長谷工コーポレーションにおいてDX認定を取得 -DX推進委員会において4つのWGを組成し推進体制を整備/オフィスにおけるDX活用推進 -「グリーデータ連携基盤構造PJ」「GRIP」推進: 長谷工アリエルエストートで一部運用開始[長谷工アナシス] -生成AI利活用推進プロジェクトを設置し、グループ全社員にMicrosoft社の生成AI「Copilot」を展開 -「GOKURAKU-DXプロジェクト*」を継続推進[長谷工ライネット] *生産性向上を目指した基幹システム刷新プロジェクト -労働生産性向上技術開発件数(1件完了、5件継続中) -未来の介護デザイン室において介護分野のDXを検討・推進[長谷工シニアウェルデザイン] -電子契約書導入推進中(HUB・HRE)	☆☆	長谷工グループ

2024年度 長谷工グループCSR行動計画

※社名表記のないものは[長谷工コーポレーション]の取り組みを指します

4つのCSR取り組みテーマ	マテリアリティ(重要課題)	創業100周年(2037年)ありたい姿	2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目	指標(KPI) / 目標数値	実績	2024年度の主な取り組み(ハイライト)	自己評価	対象範囲	
大切にしたい 風景 住まいをつくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境 配慮を推進します。生態系への影響に配慮し、資源・エネルギー効率の向上を追求し、協力会社とともに自然を大切にする現場・職場をつくりていきます。	気候変動への対応	18 全ての事業活動において、高いエネルギー効率と再生可能エネルギー活用率を実現する	① 環境マネジメントシステムの継続的管理・改善	・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ	0件	・環境マネジメントシステムの継続・推進[長谷工コーポレーション・長谷工リフォーム・不二建設]	☆☆	長谷工コーポレーション 長谷工リフォーム 不二建設	
			② SBT目標達成に向けた削減取り組み	・SBT目標(基準年度:2020年度) [Scope1+Scope2] 2030年度 ▲42%・2050年度 ▲100% [Scope3] 2030年度 ▲13%・2050年度 ▲37%	削減取り組みを推進	・スコープ1～3 数値の算定を継続実施 ・上記スコープ数値につき第三者認証を取得 ・H-BACコンクリート(環境配慮型コンクリート)の積極採用を推進 ・再生可能エネルギーの導入 ・ZEH-M事業の継続推進	☆☆	長谷工グループ	
			③ 設計・施工段階におけるCO2の削減	【長谷工コーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・CO2削減率10%以上(設計) ・CO2排出量削減 発生原単位8.5t-CO2/億円以下(施工活動)	東:27.6%、西:29.3%(設計) 東:7.66t-CO2/億円、西:6.66t-CO2/億円(施工活動)	・CO2削減技術開発件数(2件完了、7件継続中) ・建設作業所における使用電力100%再エネ化継続推進 ・建設作業所におけるCO2削減の取り組み推進 -環境配慮型燃料を導入(GTL燃料:東京21現場 関西4現場、B5燃料:東京129現場 関西3現場) -重機の電動化を促進中(電動フォークリフト:東京74現場 関西0現場) -「廃食油活用システム*」の運用 *長谷工シニアウェルデザインの運営する高齢者向け施設の厨房から排出される廃食油を活用し、バイオディーゼル燃料を生成する仕組み -設計段階において、電気自動車充電設備の積極提案を実施 -気候変動対応に繋がる仮設材・資材を採用(大阪万博パビリオン建設工事において、太陽光ユニットハウス、GTL燃料、バイオディーゼル燃料等を採用) ・木質バイオマス発電所(奈良県生駒市)が完成 *長谷工コーポレーションにて匿名組合出資を実施 ・スマートブランシェ本行徳が令和6年度「気候変動アクション環境大臣表彰」先導導入・積極実践部門(緩和分野)を受賞	☆☆	長谷工グループ	
			④ 建設作業所・オフィス等における省エネ・節電を促進	【長谷工コーポレーション(ISO14001拠点)】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・電力使用量2023年度実績値以下	2.5%	・建設作業所での身近な節電活動事例啓蒙 ・全社での省エネ活動の実施 -夏季・冬季節電強化月間を設定、昼休み時間中の消灯実施	☆☆	長谷工グループ	
			⑤ 事業活動における再生可能エネルギーの積極活用	・作業所導入率100% ※非化石証書購入分含む	100% ※長谷工コーポレーション	・長谷工コーポレーションの建設現場の使用電力を100%再生可能エネルギー化(2023年5月達成) ・自社ビル・一棟借りビルのオフィス電力再エネ化促進	☆☆	長谷工グループ	
			⑥ ZEH事業の推進	・集合ZEH事業件数 ・自社開発物件ZEH基準対応100%	マンション:61件、戸建:100件(期中着工分) 100%	・マンションのゼロ・エネルギー化に向けZEH事業を積極展開 -長谷工不動産・総合地所が「ZEHデベロッパー」、細田工務店が「ZEHビルダー」に登録継続 -自社開発マンション(分譲マンション・自社保有賃貸マンション)のZEH-M Oriented標準化[長谷工不動産・総合地所] -自社開発賃貸マンション「Live Casa(ライブカーサ)」ZEH化推進[長谷工ライズネット]	☆☆	長谷工グループ	
			19 集合住宅における木材活用において先進的な取り組みを推進している	① 集合住宅への木材活用	・建物主要構造部における木造採用件数(前年度以上)	1件	・木造採用件数1件竣工(3月予定):目黒中央(上層4層を木造・RCハイブリッド工法とした当社初のプロジェクト) ・木質化実現に向けた研究・技術開発:2件完了、7件継続中	☆☆	長谷工グループ
			20 全ての事業活動において、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を徹底して実践している	① 建設廃棄物の削減を促進	・外部表彰受賞件数 【長谷工コーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・混合廃棄物5kg/m ³ 以下 ・混合廃棄物のリサイクル率83%以上	0件 東:1.6kg/m ³ 、西:2.5kg/m ³ 東:94.94%、西:88.68%	・木くずの資源循環 ・廃棄物の分別教育継続実施(HASEKOパリューアップ活動・協力会社組織にて) ・BIMによる生産システムにより資材ロス削減を継続実施 ・建設廃棄物削減・資源再利用に向けた研究・技術開発:2件継続中	☆☆☆	長谷工グループ
				② オフィス・建設作業所における3R拡大	【長谷工コーポレーション(ISO14001拠点)】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・コピー用紙使用量2022年度印刷枚数以下	▲10.3%	・主要会議にてペーパーレス化継続促進 ・ペットボトルキャップ回収活動を継続実施しCO2削減に寄与(オフィス・建設作業所より約581,530個(約1,188kg)回収=CO2削減量約3,743kg)	☆☆☆	長谷工グループ
			生物多様性への配慮	21 全ての事業活動において、周辺環境配慮を徹底している	① 生物多様性保全活動(長谷工の森林)	・イベント4件以上、参加者数延べ250名以上	4件、247名	・「長谷工の森林(もり)」森林整備活動を、長野県茅野市・和歌山県田辺市*にて開催 *田辺市の活動では、7年間で計約9,700本の植樹を実施 ・生物多様性保全活動を実施 -東京グリーンシップ・アクション清瀬松山緑地保全活動への参加、藤前干潟クリーン大作戦に参加、明日香村での生物多様性保全活動の開催	☆☆
② 生物多様性への貢献	・外部表彰受賞件数(ABINC認証含む)	11件			・TNFDに基づく情報開示を実施 ・長谷工テクカルセンターがOECDに登録 *環境省「自然共生サイト」認定済 ・ABINC認証:9件取得/環境関連表彰:2件受賞 -ABINC認証:「近鉄不他」平野区長吉長原東PJ、「東急不他」プラザタワー橋本、「関電不他」横浜市戸塚区前田町計画、「国立富士見台団地マンション建替組合」国立富士見台団地マンション建替事業、「大和H他」プレミスト昭島モリバーグラン、「総合地所他」プラザシティ品川ルネ キャナル、「総合地所他」柏市豊四季台1丁目計画、「野村不他」西千葉RESIDENCE AVENUE、「総合地所」ルネグラン上石神井 -環境関連表彰:おさか優良緑化賞・知事賞・生物多様性賞「シーンズ神崎川」、 -奨励賞「ローレルタワー堺筋本町」[長谷工コーポレーション設計・施工] ・長谷工コーポレーション設計案件において緑化によるCO2削減量の算定を継続実施	☆☆	長谷工グループ		
汚染予防・周辺環境配慮	22 全ての事業活動において、周辺環境配慮を徹底している	① 環境法規制等の遵守	・土壤、水質、粉塵等に関連する法令違反ゼロ	0件	・有害物質・残存物の有無について事前調査を実施 ・購入した土地における土壤調査および必要な際は土壤改良作業を実施	☆☆	長谷工グループ		
		② 建設現場近隣住民への配慮	・パリューアップ活動にて啓蒙実施	実施	・騒音、振動、粉塵、排ガス等についての対策を継続実施 ・HASEKOパリューアップ活動CSR部会にて各種活動を啓蒙 -建設現場の仮囲いにデジタルサイネージの設置を実施	☆☆	長谷工グループ		



2024年度 長谷工グループCSR行動計画

※社名表記のないものは[長谷工コーポレーション]の取り組みを指します

4つのCSR取り組みテーマ	マテリアリティ(重要課題)	創業100周年（2037年）ありたい姿	2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目	指標（KPI）／目標数値	実績	2024年度の主な取り組み（ハイライト）	自己評価	対象範囲
信頼される組織風土 <small>ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践していきます。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にどうえ、事業を通じた社会貢献領域を常に開拓していきます。</small>	人権の尊重	23 人権尊重のための仕組みを確立し、実践している	① 人権デュー・ディリジェンスの実施 ② ハラスメントの撲滅に向けた教育・仕組みの強化	・外国人技能実習生アンケートの実施率100%（建築関連グループ各社協力会組織） ・eラーニング受講率100% ・ハラスメント研修受講率100%	100% 99.7% 100%	・「長谷工グループ人権方針」に基づき、人権デュー・ディリジェンスを推進 ・協力会社組織に向けて各種アンケート調査を実施 ・長谷工グループCSR調達ガイドライン遵守状況に関するアンケート（外国人技能実習生に関する設問を含む）を実施[建栄会:長谷工コーポレーション][建翔会:不二建][住優会:長谷工リフォーム][輝翔会:長谷工コミュニティ][親和会:細田工務店] ・リスク予防活動の中で、グループ各社部署にて人権リスクの洗い出しうを実施 ・「ビジネスと人権」をテーマとしたステナリティ講演会を実施 ・人権ハンドブックを制作し、グループ全社員に配布、周知啓蒙を実施	☆☆	長谷工グループ
	サプライチェーン・マネジメント	24 CSR調達を実現している	① CSR調達方針のサプライチェーンへの周知徹底	・アンケート調査実施率100%（建築関連グループ各社協力会組織）	100%	・協力会社組織に向けて各種アンケート調査を実施 ・長谷工グループCSR調達ガイドライン遵守状況に関するアンケートを実施[建栄会:長谷工コーポレーション][建翔会:不二建][住優会:長谷工リフォーム][輝翔会:長谷工コミュニティ][親和会:細田工務店]：866社が回答 ・「長谷工グループCSR調達ガイドライン」、社内外への周知徹底継続 ・調達ガイドライン遵守条項について各種契約への条項化を推進、監査部と連携 ・協力会社組織「建栄会」所属企業の外国人従業員を対象とした「外国人労働者座談会（グローバルワーカーズ・ミーティング）」を4現場で開催	☆☆	長谷工グループ
	ガバナンス・リスクマネジメント	25 品格のある会社として企業倫理・法令遵守が徹底されている	① ガバナンス体制の強化 ② コンプライアンスの徹底 ③ 環境・社会リスクを含めたリスクマネジメントの強化	・取締役のうち社外取締役の占める割合1/3以上 ・取締役会実効性評価の実施 ・コンプライアンスに関する講演会受講率 ・コンプライアンス対策委員会開催 ・eラーニング受講率100% ・リスク統括委員会開催（年4回） ・BCP継続運用（震災対応・感染症対策含む） ・グループ管理物件・施設被災状況確認訓練実施率100% ・内部監査カバー率100%	41.7%（5名/12名） 実施 100% 年11回開催 100% 年4回開催 継続運用 100% 100%	・取締役会の実効性評価アンケートを実施 ・取締役会の諮問機関として、指名報酬委員会を設置・開催 ・代表取締役と監査役間の意見交換会を実施 ・講演会についてはeラーニングシステムを利用した動画配信形式で実施（2回実施） ①外部取引におけるコンプライアンス②ハラスメントの理解・防止 ・コンプライアンス研修を実施 ①新入社員研修（動画）②東西財務部門5年次（対面）③関西営業部門4年次（対面） ・契約・派遣社員を含めた全役員職員を対象に以下項目を実施 ①コンプライアンスに関するeラーニング教育2回実施 ②長谷工グループ「コンプライアンスブック」のアプリ配信・冊子配布 ③「コンプライアンスガイドライン（公正で誠実な事業活動を行う為の基本的な順守事項）」の同意取得。 ・内部通報相談件数33件	☆☆	長谷工グループ
		26 一人ひとりの社員の所属や階層に必要なCSR教育が実施され、CSR経営がなされている	① 計画的なCSR教育の実施などによる社内浸透施策や理解度調査の実施	・ステナリティ講演会開催（年1回） ・eラーニング受講率 100%	年1回開催 99.7%	・ステナリティ講演会（テーマ：ビジネスと人権）を実施 ・契約・派遣社員を含めた従業員を対象にステナリティeラーニングを年2回実施 (第1回テーマ：ステナリティに関する基礎知識、および長谷工におけるステナリティの考え方) (第2回テーマ：社会課題と長谷工の具体的な取り組みについて)	☆☆	長谷工グループ
情報開示とエンゲージメント	27 多様なステークホルダーから得た情報を活かし、CSR経営を実現している	① ステークホルダーエンゲージメント	・機関投資家・アナリスト・メディア・エンドユーザー等とのコミュニケーション活動	計247社との面談実施		・決算説明会（年2回実施）、決算後のネットカーフレンス（年4回実施） ・決算後にIRミーティング・ESG面談を実施 ・マンション市場説明会（アナリスト・メディア等対象）を年2回開催 ・各種見学会（アナリスト対象）を開催 -居住型実験住宅（ステナリオシナリオ）の見学会（1回）、長谷工マンションミュージアム見学会（2回）	☆☆	長谷工グループ
	28 ステークホルダーに対し積極的な情報開示を行っている	① ステークホルダーの課題認識や期待に応える情報開示の促進	・Webサイトの適時更新 ・統合報告書の発行 ・ESG情報開示に対する外部評価向上	随时更新実施 発行 変動なし		・GPIF採用6指数のうち5指数（「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」、「MSCI日本株ESGセレクト・リターナー指数」、「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）」、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」）に選定 ・統合報告書・Webサイト等での開示実施 ・各種調査・アンケート等対応実施 -ESG評価機関（FTSE・MSCI等）、東洋経済CSR調査、日経スマートワーク・SDGs経営調査 ・オウンドメディア「マンションプラス」にて、マンションにまつわる情報を定期的に発信	☆☆	長谷工グループ